

精神病長期入院者

支援の必要性訴え

牧之原で講演会

統合失調症の患者の家族らでつくる牧之原市のNPO法人「精神保健福祉みどり会」が十七日、同市静波の榛原文化センターで講演会（中日新聞東海本社後援）を開いた。

毎年この時期に開催しており、精神保健福祉士の菅原小夜子さんが講師を務めた。

菅原さんは「精神病

床での入院期間が一年を超えると、退院後に在宅に戻ることが非常に難しくなる」と指摘し、長期入院を防ぐべきだと強調。長期入院者を支援する仕組みづくりの重要性も説いた。（佐野周平）



長期入院を防ぐ重要性
を強調する菅原小夜子
さん＝牧之原市静波で